

ケンブリッジ大学図書館蔵

「アストン和書目録」について (2)

虎 尾 達 哉

5. 目録本文訳稿 (A類)

以下、二節に分って目録本文を訳出しておくこととする。本目録の翻訳について、申請を許可されたケンブリッジ大学図書館副館長 D.J.Hall 氏ならびにお力添え頂いた同館司書小山騰氏に改めて感謝の意を表す。また、訳出に当たっては、Peter Kornicki、林望両氏の労作『ケンブリッジ大学所蔵和古書総合目録』(EJCUL: *Early Japanese Books in Cambridge University Library*) の貴重な成果を少なからず借用させて頂いたことを敬意と共に明記しておきたい。

凡例

- 1) 本目録収載の書目で EJCUL 収載の書目に該当するものについては、EJCUL 使用の「通し番号」を右端に付して、参照の便宜とした。
- 2) 1) の書目のうち、アストンの蔵書印や自署、あるいはアストンへの献辞などの所在によって、明らかにアストン旧蔵書と判断されるものについては、1) の「通し番号」の横に○を付した。
- 3) 1) の書目のうち、明らかにサトウ旧蔵書と判断されるものについては、同じく S を付した。
- 4) 原目録の記載形式は必ずしも統一されていないが、本稿では、原則として、書題・編著者名・書誌(刊年・刊行地・法量・冊数・頁数など)・コメントの順に訳出した。したがって、原目録の記載順序とは必ずしも一致しない。
- 5) 本目録収載の書題と EJCUL 収載の書題とが異なるものについては、参照の便宜から、EJCUL に拠った。推定書題を[]で、冠称(角書)を()で括ることも、EJCUL に倣った。
- 6) 編著者名についても、本目録と EJCUL とが異なる場合は、原則として EJCUL に拠っ

たが、その際は拠った箇所を[]で明示した。また、EJCULに該当書目がなく、『国書総目録』などに拠った場合も同様である。

- 7) 本目録には、書物の内容から、「小説」「戯曲」などのように分類表記の見られるものがある。これらの表記はコメント本文とは別に末尾に掲出した。ただし、コメント本文か分類表記かの区別が困難な場合もある。
- 8) 本目録の用箋左余白には、アストンが蔵書をBM すなわち大英博物館(The British Museum)の蔵書目録と照合したことを示す記載が見られる。本稿ではその記載をコメント本文とは別に末尾近くに配した。
- 9) 書誌の法量の数字はインチである。
- 10) 一書分の目録事項がすべて抹消されている場合は、その書題の前に〈抹消〉と記した。
- 11) 現時点で判読不能の字句は***で表示して、後考を期すこととした。

Case I

Shelf 1 1-95

409冊

- | | | |
|---|---|--------|
| 1 | 朝鮮事情 榎本武揚 1882 (第2版) 7 1/2×5 1冊 122頁 板紙 | 1558 ○ |
| | 朝鮮についての叙述。 | |
| 2 | 朝東夢物語 年時・著者名なし 写本 6 1/2×9 1/2 | 1407 ○ |
| | 徳川将軍の一人による寺院建立についての噂話。 | |
| 3 | 征韓偉略 川口緑野 年時なし 東京 5冊 | 1213 ○ |
| | 秀吉の朝鮮侵略について漢文で記した史書。 | |
| 4 | 亜墨利加記行 井上隠岐 1862 写本 9 1/2×6 1/2 1冊 | 1581 ○ |
| | 1860年の在米日本外交使節団の日誌。 | |
| 5 | 朝鮮処分纂論 福城駒太郎 1882 5×7 1冊 67頁 | 1763 ○ |
| | 新朝鮮政策についての考察。 | |
| 6 | 顕承述略 萩原西疇 1876 東京 6×9 5冊 | 1398 ○ |
| | 古い史書から古代の日朝交渉・日中関係に関する重要記事を集成。 | |
| 7 | 無人島談話 薩摩の医者 1797 写本 10 1/2×7 1冊 | 1569 ○ |
| | 小笠原諸島についての記述。 | |
| 8 | 善隣国宝記 写本 8×10 1冊 | 1384 |
| | 古代の日朝関係に関する史料集。 版本あり。 価値なし。 | |
| 9 | 山田右衛門佐口書 1638 (原本、この本は写し) 写本 紙表紙 18頁 61/291/2 | 1247 ○ |
| | キリスト教徒の反乱に関する法廷での証言。 | |

- 10 異国船書附 著者名なし 1853 6 1/2×9 1/2 44頁 1405 ○
1853年以前の諸外国の日本来訪に関する史料。
- 11 文明開化 加藤裕一 1873 東京 6×9 4冊 1998 ○
「文明」についての方言の講義。
- 12 [琉球来聘使・阿片戦争関係文書集] (琉球人来朝記) 写本 6 1/2×9 1冊 1395 ○
1840年の英国による広東攻撃を報告した1830年の琉球王国外交使節団
についての記述。
- 13 商法会議の仕方 岡本[純] (英国公使館書記) 1888 東京 5×7 146頁 2090 ○
商事会社についての論説。
- 14 明治太平記 [村井静馬] 1875 東京 5×7 4冊 1253 ○
挿絵つき。1867-1868年の内戦の歴史。
- 15 水府公上章 源宰相[徳川斉昭] 1838 写本 6 1/2×9 1370 ○
対外関係等に関する水戸の大名の覚書。
- 16 天草軍記 田丸貞房 年時なし 薄い 写本 1821年写 7×9 7冊 1241 ○
1637-1638年の天草 (キリスト教徒) の反乱をややロマンティックに
著した史書。
- 17 [筑前孫太郎漂流記] 薄い 写本 7×9 1567 ○
外国に漂流し8年後の1771年にオランダ船で日本に帰国した水夫
についての当局への報告書。
- 18 和漢寄文 長崎外国奉行[松宮観山] 1728 写本 8×11 3冊 1390 ○
日本の対外関係に関する史料集。
- 19 寛永南島変 年時・著者名なし 写本 10冊 (8冊+附録2冊) 6 1/2×9 1248 ○
17世紀における天草 (キリスト教徒) の反乱の歴史。
- 20 關邪小言 大橋[訥庵] 1857 7×10 4冊 404 ○
ヨーロッパの思想や学問への非難。アストン『日本文学史』381頁を見よ。
- 21 隣交徴書 [伊藤威山] 1840 7×10 6冊 1389 ○
日本の対外関係に関する国家文書の集成。天皇の書簡多数。漢文。
- 22 島原記 年時・著者名なし 7 1/2×10 3巻1冊 1235 ○
天草のキリスト教徒の反乱の歴史。非常に趣のある古い木版本。
18世紀初めのものと思われる。
- 23 南海紀聞 青木[定遠] 年時なし 7×10 5巻1冊 1565 ○
この書の梗概は日本アジア協会紀要に「1764年のマレー半島における
日本人水夫の冒険」と題して活字化された。
- 24 日本書紀通証 谷川[士清] 1762 京都 7×10 35巻23冊 1158
古い正史である日本紀の注釈。

- 25 浦賀聞書 年時・著者名なし 写本 7×10 1/2 3冊 1409 ○
1853年のペリーの日本遠征に関するメモ。
- 26 異国船書附 写本 6 1/2×9 1406 ○
1806年・1825年・1849年における外国船の来日に関する公文書。
- 27 環海異聞 年時・著者名なし 写本 6×9 7冊 1580 ○
1793年のロシアにおける日本人水夫たちの冒険。
- 28 墨竹発蒙 菅云鳳 1857 7×10 2126 ○
水墨画における竹の描写に関する論説。素晴らしい絵多数。
- 29 「芝居をテーマとした色刷版画集」 7×10
素晴らしい絵。
- 30 〈抹消〉草木奇品家雅見 [種樹家金太] 1824 7×10 3冊
珍しい草木とその増殖についての論説。絵多数。
- 31 更紗図譜 稲葉通龍 1785 1888
キャラコの染め方を豊富な模様見本をつけて論説。
- 32 「水彩画集」 年時・著者名なし 7×11 折りたたみ
- 33 神代帝都考 狭間畏三 1899 東京 1194 ○
日本の神代の都の跡についての論説。九州の豊前か？
- 34 外国通覧 年時・著者名なし 写本 7×10 6冊 1566 ○
18世紀後半における外国人に関する史料。
- 35 外蕃通書 近藤[周斉] 写本 7 1/2×10 1391 ○
朝鮮・オランダ・中国・安南など諸外国に関する国家文書を公的に集成したもの。17世紀ウィリアム・アダムズの時の英国との貿易に関する文書もある。
- 36 かさし抄 吉川[彦富]・山口[高瑞] 1767 6×8 絹表紙 472 ○
不変化詞のリスト。文法に関する書き手としては宣長以前の学派に属する。
- 37 あゆひ抄 吉川[彦富]・井上[義胤] 1773 6×8 474 ○
文法に関する論説。
- 38 文法書 山田[对湾] 1873 6×8 1/2 489 ○
日本語文法。一部分のみ。価値なし。
- 39 消息文例 本居宣長 1800 京都 7×10 2冊 899 ○
手紙の言葉遣いについての論説。
- 40 残桜記 伴信友 1850 東京 7 1/2×10 2冊 1177
14世紀の南北朝についての史的メモ。
- 41 日本書紀藻塩草 玉木[正英] 京都 6冊 1156
日本の神代史についての注釈。

- 42 神字日文伝 平田篤胤 1819 7×10 3冊 443 ○
 いわゆる神代文字についての論文。(これは今日からすると朝鮮の合成文字に見える)
- 43 文藝類纂 榊原芳野 1878 東京 7×10 8冊 44 ○
 文章技法についての論説。
- 44 古道大意 平田篤胤 1824 6 1/2×9 2冊 179
 神道についての簡潔な説明。神道研究の優れた入門書。印刷明瞭。
- 45 古語拾遺講義 久保季茲 1888 東京 5×7 1146 ○
 807年の古語拾遺についての解説。
- 46 古語拾遺 小田清雄注 1891 大阪 6×9 1147
 古い神話の拾遺。
- 47 古言清濁考 本居宣長 1801 京都 7 1/2×11 459 S
 古代の単語の発音。子音の清音・濁音について。 言語
- 48 租調考 三浦千春 1869 (新版) 7×10 1/2 1900 S
 系譜について。 国学
- 49 言文一致 物集高見 1886 東京 5 1/2×8 1/2 2冊 496
 書き言葉と話し言葉との一致についての論説。
- 50 石上私淑言 本居宣長 1816 7×10 932 ○
 詩についての論説。
- 51 字音仮字用格 本居宣長 1776 伊勢松阪 7×10 446 ○
 漢字を日本の仮名で表す方式について。 言語
- 52 朝鮮年代記 曾貞幹 1763 江戸 5×7 1/2 1427 S
 朝鮮の年代記と歴史の素描。絵若干あり。
- 53 紫文製錦 源稻彦 1807 本居宣長序 5×7 8冊 563
 源氏物語からの抜粋。
- 54 文苑玉露 聴雨庵蓮阿 1814 5×7 2冊 896
 本居宣長の文章から洗練された和文の散文を抜粋したもの。
- 55 釈日本紀 卜部懐賢 1301 現本の年時は不明 7 1/2×10 1/2 15冊 1155 S
 日本の古い史書である日本紀についての古代の価値ある注釈書。
- 56 本朝能書伝 橘行精 1856 2冊 7 1/2×10 1/2 2191
 著名な能書家を模写による実例つきで紹介したもの。BMにあり。
- 57 蜘蛛のすかき [梅井一室] 1814 大坂 6 1/2×9 476 ○
 不変化詞についての論説。 文法
- 58 語学新書 中橋鶴峯 1833 江戸 7×10 485 ○
 文法書。

- 59 玉あられ 本居宣長 1843 7×10 480 ○
日本語の文語で陥りがちな誤りについての評論。 文法
- 60 小学日本文典 田中義兼 1875 東京 7×10 2冊 490 ○
学校用日本語文法書。
- 61 語学指南 佐藤誠実 1979 東京 4冊 493 ○
日本語文法。
- 62 古事記便要 那珂通高 1873 東京 6 1/2×9 2冊 1142 S
古事記の要点を議論したもの。 古代史
- 63 日本書紀 1672 京都 7 1/2×10 1150 S
神代2巻 日本紀の最初の2巻のみ。神話部分のみの内容。 歴史
- 64 篤能玉籤 六人部是香 1855 7 1/2×10 1/2 189
語源についての著作。
- 65 標註刪修古事必読 明・丘濬著 市川清流編 E.M.サトウ序 6×9 3冊 2448 S
古典のための辞書的一种。 BM 目録にあり
- 66 日本国開闢由来記 [一夢道人] 1858 7×10 7冊 752 S
一般向けに挿絵を多用した早い時期の日本の歴史。 BM 目録にあり
- 67 続日本紀 立野春節 1657 京都 7 1/2×10 20冊 1163 S
日本紀を継承した正史。その対象は文武朝から桓武朝(奈良時代)。漢文体。
BMになし 歴史
- 68 神風遺談 菊池寛三郎 1856刊 江戸 7 1/2×10 3冊 1201
モンゴルの日本侵略を述べた史書。挿絵あり。
- 69 建武年中行事略解 谷村[掃部]編 1732 京都 7 1/2 5冊 1865 S
建武年間(1334-1338)の慣例・民俗の暦。
- 70 出雲風土記仮字書 大原家蔵編 1856(原本は733に編纂) 7×10 3冊 1436 ○
出雲の地誌。古い神話を含む。
- 71 新撰姓氏録 815撰 現本1668刊 7×10 1/2 4巻合1冊 1356
黒の木版で印刷良好。漢文。日本の主要な上流氏族の系譜を述べた名鑑。
研究者に必須の参考文献。 BMになし 置くべし
- 72 古史成文 平田篤胤 1823 7×10 1/2 3冊 176
日本の神話(日本紀・古事記など)の対照照合。印刷良好。
- 73 日本書紀(日本紀に同じ) 舎人親王・太安万侶 1610 7×10 15冊 1149 ○
印刷良好。 BMにあり
- 74 日本王代一覽 林[鶯峰] 1663成立 現本1802年刊 7×10 7冊 1107 ○
日本の歴史(日本語)。Klaprothが東洋翻訳基金のためにフランス語に翻訳。
- 75 弁疑書目録 中村富平 1710 3巻合1冊 1 ○

著者名が本当であるか疑わしい作品の書目。

- 76 宇治拾遺物語 1659 京都 6×9 15冊 572 S
 宇治物語にもれた説話の補遺。11世紀に収集。
 『日本文学史』119頁を見よ。趣のある挿絵つき。
- 77 宇治拾遺物語 1659 京都 6×9 15冊 573
 76に同じ。宇治物語の補遺。風変わりな挿絵あり。古典的な説話。 BMにあり
- 78 春曙抄 ウエサカカンベイ編 1729 京都 874 ○
 清少納言によって紀元1000年頃に書かれた枕草子を編集したものの一つ。
 この著名な古典を注釈をつけて編集。アストン『日本文学史』104頁を見よ。
 奥書の年紀は1674年。 BMになし 必要なし
- 79 大和物語之抄 1653 7×10 3冊 554 ○
 10世紀の説話集を注釈をつけて編集。アストン『日本文学史』88頁を見よ。
 BMに別の版本
- 80 平家物語評判秘伝抄 年時・著者名なし 7 1/2×10 24冊 587 ○
 外観からは17世紀の本らしい。あの著名な平家物語の注釈書。 BMになし
- 81 平家物語 年時・著者名なし。 584 ○
 12世紀初の古典的作品。アストン『日本文学史』139頁を見よ。この本は
 おそらく17世紀のもの。僅かに虫損あり。
- 82 保元物語 1657 7 1/2×11 582 ○
 原本は12世紀末にかけて葉室時長によって著された。1157年から1159年にか
 けての内戦を記した史書。趣のある古い挿絵多数。アストン『日本文学史』
 参照。 BMになし
- 83 駿台雑話 室鳩巢 1729 江戸 (現本1897刊 東京) 53/4×81/2 85
 雑多な談話集。「日本精神」研究上極めて重要な著作。アストン『日本文学史』
 258頁を見よ。
- 84 群書一覽 尾崎雅嘉 1801 現本1851刊 4 1/2×7 6冊 5 S, ○
 極めて有益な文献目録。 BMにあり
- 85 異称日本伝 松下[見林] 1693 7 1/2×10 1/2 9冊 1387
 中国の書き手たちが使った日本の称呼を古い時代から拾い集めたもので、極めて
 有意義。漢文体だが、行間に訓点が付されている。 BMになし 置くべし
- 86 骨董集 山東京伝(小説家) 1813 7 1/2×10 1/2 4冊 96 ○
 民俗・古い慣習・遊びなどについての有意義な研究成果。挿絵多数。 BMにあり
- 87 竹取翁物語解 田中大秀編 1828 7×10 6冊 541 ○
 アストン『日本文学史』参照。ディッキンズ他によって翻訳されている。
 BM目録にあり 目録では「オオヒデ」を「ダイシュウ」とする

- 88 竹取物語抄 小山伯鳳注編 (BM目録による) 1783 江戸 7 1/2×10 2冊 539 ○
アストン『日本文学史』を見よ。 BMにあり
- 89 可笑記 1636 7 1/2×10 5冊 604
儒教の特徴についての啓蒙的な随筆。 BM目録になし
- 90 (訂正標註) 方丈記 上田胤比古注編 1893 東京 第2版 6×9 紙表紙 875
この著名な古典の便利な刊本。アストン『日本文学史』を見よ。
BMにこの古典の刊本なし
- 91 土佐日記講義 今泉定介編 1896 東京 6×8 1/2 887
古典。アストン『日本文学史』を見よ。 この刊本BMになし
- 92 昔男時世妝 也来 1731 6 1/2×9 5巻合本1冊 546
古典・伊勢物語を当世風に書き直したもの。木版。古典。 BMになし
- 93 神楽催馬楽歌入文 橋守部 1841 6 1/2×9 3冊 1009 ○
神楽として知られる一種の古い詩を多くの実例とともに論じたもの。 BMにあり
- 94 神楽催馬楽歌入文 橋守部 1841 6 1/2×9 3冊 1009 ○
催馬楽と呼ばれる一種の古い詩についての論考。 BMにあり
- 95 万葉集美夫君志 木村正辞 1901 東京 6×9 4冊 960
万葉集についての一まとまりの覚書。亜麻色の絹のケースから巧く出たり
収まったりする。 BM目録になし 詩

Shelf 2 96-199 281冊

- 96 万葉考 藤原[宇万伎]・[長瀬真幸] 1824 東京 7 1/2×10 953
人麻呂の詩集。アストン『日本文学史』を見よ。 BM目録になし
- 96A 狂歌五十人一首 [石川雅望] 1819 8×11 1005 S
50人の作者による滑稽な詩の詩集。 BM目録にあり (これより後の版か?)
- 97 狂歌五十人一首 [石川雅望] 1819 7 1/2×10 1/2 1004
滑稽な詩の詩集。挿絵あり。96番と同じ内容。版型が小さい。
BM目録23にあり これより後の版
- 97A 俳諧七部集 年時なし 17世紀末ごろ 6 1/4×8 1/2 7冊 995
俳諧という詩の集成。アストン『日本文学史』289頁を見よ。 BM目録になし
- 98 比古婆衣 伴信友 1847 江戸 7 1/2×10 2冊 108
日本紀その他についての覚書。 BMになし
- 99 伊勢物語 1608 7 1/2×11 2冊 543 ○
この知られる限り最古の版本には適宜挿絵がついており、またこの本は着

色紙に印刷されているが、現在ではかなり褪せている。M.W.アンダーソンによれば、この本は恐らくは挿絵つきの版本としては日本最古の本であろう。それ故、この本は収集家の注目を引いている。

BMに1610年の版本二つあり よく似た種類。同じ本か

- 100 末賀能比連 年時・著者名なし 7×10 209 S
 国家主義者による神道批判。 BMになし 宗教
- 101 当流小謡梁塵[集] 1764 大坂 6×8 1/2 1040 ○
 劇詩(謡)・能・芝居からの抜萃詩集。挿絵は多いが、さして見るべきものなし。
 BM目録になし
- 102 伊勢物語新釈 藤井高尚 1815 7×10 5冊 551 S
 著名な古典の版本で、豊富な注釈がつく。 BMになし
- 103 伊勢物語古意 賀茂真淵 BM目録によれば、1800? 7 1/4×10 548 ○
 BMにあり 古典
- 104 新体詩抄初編 外山[正一]・矢田部[良吉]・井上[哲次郎]訳 1884 東京 1013
 詩の新しい形式についての試論。アストン『日本文学史』398頁を見よ。
 BM目録になし
- 105 天地玄黄 与謝野鉄幹 1897 東京 3 1/2×5 1016
 現代詩。この書と次番号の続編については、アストン『日本文学史』
 およびブリタニカ百科事典参照のこと。
- 106 東西南北 与謝野鉄幹 1896 東京 3 1/2×5 1014
 現代詩。105番を見よ。
- 107 楽天遊詩集・天来詩集 [三木天遊・繁野天来] 1897 東京 3 1/2×5 1017
 現代詩。
- 108 露じも 岩野[泡鳴] 1901 東京 4 1/4×6 1020
 現代詩。
- 109 花紅葉 塩井[雨江]・[武島羽衣・大町桂月] 1898 東京 第5版 4 1/2×6 1015
 現代詩。
- 110 若菜集 島崎[藤村] 1897 東京 4 3/4×7 1/4
 現代詩。きれいな挿絵つき。
- 111 若菜集 島崎[藤村] 1899
 現代詩。挿絵つき。(110と同じ。やや大きめの版でより新しい印象)
- 112 夏草 島崎[藤村] 1899 東京 5×7 1/4 1018
 現代詩。挿絵つき。
- 113 言文一致 高松茅村 1900 東京 5×7 1/4
 話し言葉と書き言葉の一致についての論説。実例つき。49番を見よ。

- 114 戯作六家撰 活東子 年時なし(近年) 写本 7 1/2×10 紙表紙
6人の著名な小説家と3人の画家の生涯。肖像画あり 伝記
- 115 不聞坐頭 年時・著者名なし 8×10 1/2 1044
笑劇(狂言)。 戯曲
- 116 歌舞音楽略史 小中村[清矩] 1886 6×9 2冊 1027
音楽・舞踊・戯曲の歴史。挿絵つき。序文はB.H.チェンバレン。
- 117 夜濤集 高安[月郊] 1900 東京 6 1/2×9 1/2 1019
現代詩。装丁優美。使用紙上質。頁の余白広し。
- 118 東京事情筆写真 どれすけ(在東京英国公使館書記タケダの筆名) 860 ○
1888 東京 5×7 1/2
東京の生活風景をペンとインクで描写。
- 119 大塩平八郎 高安[月郊] 1902 東京 6×9 1094 ○
日本の社会主義的改革者についての戯曲。著者からの英語の手紙つき。
- 120 古今集遠鏡 本居宣長 年時なし 5×7 6巻合本1冊 944 S
注釈と現代語訳つきの刊本。絹で製本され雁皮紙(絹紙)に印刷されている。
この古典詩集の研究には不可欠。アストン『日本文学史』見よ。***BMにあり
- 121 相州亀谷一本槍 年時・著者名なし(17世紀) 6×8 紙表紙 1079 ○
3幕の戯曲。興味深い手法の挿絵つき。状態不良。
- 122 籠城連理鐘 年時・著者名なし おそらく17世紀 6 1/2×8 1/2 1053 ○
3幕の戯曲。
- 123 おもひ草 佐々木信綱 1903 東京 5 1/2×7 1/2 クロス装 装丁美麗 987
現代詩(短歌)。
- 124 大盃酒仙強者? ヨシムラシンシチ 1888 東京 5×7 紙表紙
現代戯曲。
- 125 四千両露見梅香? ヨシムラシンシチ 1888 東京 5×7 紙表紙
現代戯曲。
- 126 二代源氏誉身代? ヨシムラシンシチ 1888 東京 5×7 紙表紙
現代戯曲。
- 127 月と梅香る朧夜? ヨシムラシンシチ 1888 東京 5×7 2冊 紙表紙
現代戯曲。
- 128 めくら長屋? ヨシムラシンシチ 1888 東京 5×7 紙表紙
現代戯曲。
- 129 菊と桐 坪内逍遙 1898 東京 6 1/2×9 1093
色刷り木版の挿絵つき。現代戯曲。
- 130 牧の方 坪内逍遙 1897 東京 6 1/2×9 1092

- 挿絵つき。アストン『日本文学史』を見よ。
- 131 雲の人々 (臆病な雲の人たち) ワタナベノゾミ 1887 東京 5×7
ユーモア小説。挿絵つき。 小説
- 132 親の恩 (親の思い) 大橋新太郎 1892 東京 5×7 1/2 863
中篇小説。挿絵つき。 小説
- 133 南無阿弥陀仏 (よく使われる仏への祈りの言葉) 尾崎徳太郎 (筆名紅葉) 842
1890 東京 5×7 1/2
中篇小説。若干の挿絵つき。 小説
- 134 夏木立 山田美妙 (山田武太郎の筆名) 1888 東京 859 ○
物語集。*** 挿絵つき。アストン『日本文学史』を見よ。
- 135 不如帰 ワタナベ 1900 東京 5×7 1/2
現代小説。 小説
- 136 かくれんぼ 斉藤緑雨 1891 東京 6×9 紙表紙 862
中編小説。 小説
- 137 露子姫 [石橋]忍月 1895 (第7版) 東京 6×9 845
小説。若干の挿絵つき。
- 138 三日月 (新しい月) 村上マコト (筆名:ちぬの浦浪六 1894 (第9版) 847
東京 6×9
小説。口絵は色刷り。 小説
- 139 後の三日月 村上[浪六] 1898 (第4版) 東京 6×9 848
小説。138番の続篇。口絵あり。 小説
- 140 阿秋 渋柿園 (塚原?の筆名) 1894 東京 6×9 865
小説。色刷りの口絵つき。中国との戦争の物語。 小説
- 141 雲のちぎれ 田岡佐代治 1900 東京 6×8 1/2 536
小説。 小説
- 142 惟任日向守 石橋忍月 1895 東京 6×9 846
封建時代の小説。口絵は色刷り。 小説
- 143 金字塔 高安[月郊] 1899 東京 6 1/2×9 867
小説。
- 144 侠客春雨傘 福地[桜痴] 1897 東京 6×9 849
小説。口絵は色刷り。
- 145 十二文家 (12人の文人) 1895 東京 5×7
12巻のシリーズのうち3巻。その他の巻は欧州の文筆家。
第3巻 徂徠 山路 著 東京 1895 肖像画あり
第7巻 近松門左衛門 塚越芳太郎著 東京 1895 肖像画あり

- 第8巻 新井白石 山路 著 東京 1895 肖像画あり
- 146 日の出島 村井弦斎 1897 東京 6×9 7冊 (未完結) 866
挿絵は色刷り。非常に娯楽性の高い小説だが、文学性は高くない。学生生活の一日、たやすい離婚、中国との戦争、小説家仲間の批判、台湾への訪問など。
- 147 金色夜叉 紅葉 (尾崎徳太郎の筆名) 1900 東京 6 1/2×9 2冊 844
各冊に色刷りの口絵あり。 小説
- 148 (小説) 葉末集 幸田露伴 1892 東京 第3版 6×9 835
挿絵つき。3つの短編。アストン『日本文学史』を見よ。 小説
- 149 枕頭山水 幸田露伴 1900 東京 第6版 5×7 1/2 837
旅行風景。
- 150 雲の袖 (風の袖) 幸田露伴 1899 東京 第4版 6×9 839
口絵は色刷り。 小説
- 151 さゝ舟 幸田露伴 1899 東京 第6版 6×9 838
口絵は色刷り。 小説
- 152 五重塔 (5階建ての仏塔) 幸田露伴 1899 東京 第5版 6×9
口絵は色刷り。 小説
- 153 ひとり寝 (独りで寝ること) 幸田露伴 1896 東京 第3版 6×9 841
口絵は色刷り。 小説
- 154 ひげ男 (髭をたくわえた男) 幸田露伴 1897 東京 第2版 6×9 840
口絵は色刷り。 小説
- 155 百人一首増補絵抄 [井上秋扇] 1680 京都 7×10 1/2 968
趣のある挿絵多数。百人一首はディッキンズ他による翻訳あり。 詩
- 156 小野小町行状伝 [大江文坡] 1767 7×10 5冊 828 ○
女流詩人小野小町の生涯。 伝記
- 157 (百人一首)古今狂歌袋 シクヤイイモリ[石川雅望] 編 北尾政演 1002
(著名な小説家京伝の画家としての名) 画 年時なし、18世紀末? 7×10
BMのアンダーソン絵画目録344頁を見よ。ユーモラスな韻文を50集めたもの。
はぎ取り式の紙に印刷。 BMになし 詩
- 158 吾妻曲狂歌文庫 シクヤイイモリ[石川雅望] 編 北尾政演 (小説家京伝) 画 1001
1786 江戸 7×10 1/2
BMのアンダーソン絵画目録344頁を見よ。ユーモラスな短歌を50首集めたもの。 詩
- 159 安達原[氷之姿見] 山東京伝編 1813 江戸 6×9 2巻1冊 801
歌川豊国による多数の挿絵。シミと虫食いによりしばしば詠み辛い。
京伝については、アストン『日本文学史』参照のこと。 小説
- 160 (梅野四与兵衛物語)梅花氷裂 山東京伝 1807 江戸 6×9 3冊 732

- 歌川豊国による挿絵。扇情的小説。この版本, BMになし 小説
- 161 善知安方忠義伝前編 山東京伝著 1806 江戸 6 1/2×9 6冊 730
- 歌川豊国による挿絵。扇情的小説。この版本, BMになし 小説
- 162 昔話稲妻表紙 山東京伝 江戸 8冊 731
- 歌川豊国による挿絵。 小説
- 163 [久徳画帖] 13×9 2181
- 水彩画集。さしたる価値なし。
- 164 蒲生君平遺稿 県信[六石] 1879 東京 6×9 3冊 920
- 蒲生の文章の拾遺。漢文。 隨筆
- 165 古事記伝 本居宣長編 1875版 この年時は名誉号 7 1/2×10 1/2 1139 ○
- アストン『日本文学史』321頁を見よ。これは偉大な学者・神話学者本居によってなされた日本の伝統についての著名な記念碑である。紙も印刷も素晴らしい。見事な本である。古事記本文に注釈がふんだんに付けられている。 BM目録になし Shelf 5になし
- 166 青砥藤網模稜案 曲亭馬琴 1884 東京 5 1/2×7 1/2 洋装 板紙表紙 715
- 安い版本。挿絵つき。 BMになし 小説
- 167 昔語質屋庫 曲亭馬琴 1810 東京 6×8 1/2 5冊 708
- 初版本の印象。挿絵つき。 BMにあり 小説
- 168 夢想兵衛胡蝶物語 曲亭馬琴 1810 東京 6×9 5冊 706
- 古い版本。歌川豊広(イチリンサイ)による挿絵つき。アンダーソンの目録347頁を見よ。 BMにあり 小説
- 169 敵討裏見葛葉 曲亭馬琴 1807 江戸 6×9 5冊 704
- 小説。葛飾北斎による挿絵つき。かなり古い印象。ただし、若干シミや虫食いあり。 BMになし 小説
- 170 隅田川梅柳新書 曲亭馬琴 1883 東京 4 1/2×7 713
- 紙表紙の安い粗末な版本。挿絵つき。 BMにこれより後の版本あり 小説
- 171 (武家時代)女学叢書 ウメガワセイイチ 1906 東京 6×9 3冊 紙表紙 1940
- 徳川時代以来の女性のための道德書を集めたもの。
- 172 雪中梅(雪の中の梅) 末広鉄腸 1886 東京 5 1/2×7 1/2 2冊 板紙 853
- 挿絵つき。洋式の紙使用。 BMになし
- 173 春色梅児誉美 為永春水 1882 東京 4 1/2×7 4冊(第1冊は所在不明) 783
- 挿絵は色刷り。 小説(人情本)
- 174 (梅暦余興)春色辰巳園 為永春水 1882 東京 4 1/2×7 4冊 784
- 挿絵は色刷り。173番の続篇。 小説(人情本)
- 175 道中滑稽譚 狗々山人 年時なし 江戸 4 1/2×7 7冊 769 ○

- イッカイサイ[月丘芳年]による浮世絵風の挿絵つき。より有名な悪党小説「膝栗毛」を読みたいという気にさせる。
- 176 (奥羽一覽)道中膝栗毛 十返舎一九 初版1802 江戸 現本1881 5×7 15冊 768
挿絵つき。きれいな本。あの有名な膝栗毛の著者によるその続篇。 小説
BMになし
- 177 風流勸進能 [破瓦庵]腐繩 1773 江戸 6 1/2×9 1/2 5巻1冊 696
挿絵つき。 BMになし 物語
- 178 本朝三筆伝授鑑 其鳳 1777 6 1/2×9 5冊 700
挿絵つき。 BMになし 小説
- 179 玄宗皇帝蓬萊鶴 紀海音 年時なし 18世紀初 大坂 6×8 1/2 紙表紙 1056 ○
戯曲(浄瑠璃)。
- 180 傾城無限鐘 紀海音 年時なし 18世紀初 大坂? 6×8 1/2 紙表紙 1055 ○
戯曲
- 181 南都大仏でんはしら立おどりくどき 年時・著者名なし 18世紀初 大坂? 1012 ○
6×8 1/2 紙表紙 戯曲
- 182 [河東節正本集・その他](戯曲抜書き集) 6×8 1062 ○
楽譜。若干の曲目について図説。18世紀。 戯曲
- 183 (a)女みかとあいこの若 中村清五郎 1707 大坂 6 1/2×9 1077
(b)(五人兄弟後日)百日曾我(付りけいせい請状之事) 近松門左衛門 1050
1700 大坂 6 1/2×9
(c)江戸そが 1734 大坂 6 1/2×9 興味深い挿絵つき。 1084
(d)けいせい山栴太夫 [江島其磧] 18世紀 興味深い挿絵つき。 1081
(e)[一心女雷神] 1700 とても興味深い挿絵つき。 1074 S
(f)けいせい千尋海 挿絵つき。 1080
- 以上は1冊に合本されている。
- 184 絵本花楓秋葉話 年時・著者名なし 6×8 1/2 1085
挿絵つき。おそらく19世紀初。 戯曲
- 185 戯場節用集 1842 7×10 1069
挿絵つき。芝居好きの手引書。 戯曲
- 186 無飽三才図会 幻花情史 年時なし(18世紀末または19世紀初) 大坂 6×9 766 S
挿絵つき。印刷良好。「三才図会」として知られる百科事典のパロディー。 その他
- 187 (容貌写真)俳優三階興 式亭三馬 1801 江戸 6×8 1/2 2冊 1066
歌川豊国による挿絵つき。戯曲についてのユーモラスな随筆。 戯曲
- 188 戯子名所図会 曲亭馬琴 1800 江戸 6×9 3冊 1064
歌川豊国による挿絵つき。劇場についての手引書。 戯曲

- 189 浄瑠璃評註 近松門左衛門 (友人による口述筆記) 1738 大坂6×9 5巻1冊 1046 S
近松の芝居のいくつかについての解説メモ。 戯曲
- 190 三座せりふよせ 色々な著者 年時なし (大坂 18世紀) 6×8 1/2 3冊 1088
戯曲からの抜書き集。挿絵つき。
- 191 (淀川合戦) 見聞奇談 北遊山人 1868 大坂 5×7 3冊 809 S
挿絵多数。1868年の京都・大阪間の戦闘についての話。 歴史
- 192 燕石雑誌 曲亭馬琴 1811 7 1/2×10 6冊 94 S
様々な学識についての随筆。 その他
- 193 近江源氏先陣館 1059 S
太平記忠臣講釈 1060 S
年時・著者名なし 18世紀? 6×8 1/2
二つの芝居のいくつかの場面。 戯曲
- 194 [浄瑠璃床本集] (壇浦兜軍記琴売の段) 18世紀? 6 1/2×9 1061 S
様々な戯曲の場面集。 戯曲
- 195 (新板絵入) 狂言記 (外五十番) 著者名なし 1700 6 1/2×9 1042 S
狂言 (笑劇) 集。 戯曲
- 196 戯場楽屋図会 1800 京都 7×9 1/2 1067
松好齋半兵衛による挿絵がふんだんに。アンダーソンの目録346頁を見よ。
戯曲 (芝居) の歴史
- 197 多情多恨 尾崎徳太郎 (紅葉) 1897 東京 6×9 洋装 843
挿絵つき。小説。アストン『日本文学史』を見よ。 小説
- 198 俳優浜真砂 曲亭馬琴 1806 和歌山 6×8 1/2 3巻2冊 1087 S
松好齋半兵衛による挿絵による挿絵つき (アンダーソンのBM收藏品目録
346頁を見よ)。戯曲の精選。 戯曲
- 199 国文学史十講 芳賀矢一 1900 東京 6×9 クロス装 洋装
日本の口語で書かれた文学についての10の講義。 文学

(未完)

本稿は平成16年度科学研究費補助金基盤研究 (C)「先駆的英国人日本学者のネットワーク」
による成果の一部である。